

産後ママ応援事業 「ママになった記念祭～おめでとう！お母さんになった私～」

コース
自主
事業

誕生教育劇団 1276 座

申込内容

■事業の概要

産後間もない母親に誕生の人形劇を観てもらおうとともに、自分の出産体験を振り返る場を提供します。そのことにより、自分が母親になったことを心から祝い、子育てに前向きに取り組めるように支援します。

■目的

ワクワクドキドキする演劇空間の中で、母と子がともに力を発揮する誕生の素晴らしさを地域の親子に伝えることにより、親子の信頼関係を深め、子ども達の自尊感情を育成することを目的としています。

■交付決定額 57,000 円
(事業予算 114,550 円)



◎活動の様子

6月28日、産後の母親との寄り添い方を学ぶ、出産体験の傾聴講座が開催されました。看護師や助産師の参加が多く、子どもに関わるボランティアをしている人や、耳鼻科勤務の人などもいました。



出産の体験談では、出産の不安や大変だった思いなどをじっくり聞いてもらったことで、「この子を守っていこう、育てていける。」と、自分で乗り越える自信が持てたこと、そのことで自己肯定感を高められたと話されました。また、講師からは看護師や助産師の産後ケアが母親に与える影響や、助産師をとりまく課題について話されました。特に、出産体験が肯定的でない人ほど自分から話すことが難しい傾向にあり、話を聞く機会づくりや声掛けなどの働きかけ

が重要になります。傾聴のポイントなどを学んだ後、グループに分かれて実際に出産したときの話や、産後の母親と話したときの体験などを話し合い、母親の思いについて考えました。

その後、7月17日に産後6か月未満の母親を対象にした「ママになった記念祭」が開催され、定員20組を超える母親と赤ちゃんが参加。赤ちゃん誕生の人形劇のほか、産道を通り抜け赤ちゃんと対面する体験活動や、グループで出産体験を話し合うプログラムがあり、参加者からは、「出産後は子育てに追われて振り返る間がなかった。」「出産のとき、このまま終わらなかったらどうしようと思った。」と、出産を振り返る機会となり、今が幸せだと感じる事ができたようです。話をすることで、より子育てに前向きになれることもあります。代表の古宇田千恵さんは、「このような場が少しでも必要な人に届けば」と話しています。



◎今後の予定（平成26年度）

- 9月 出産体験の傾聴講座
- 10月 ママになった記念祭～おめでとう！お母さんになった私
- 12月 出産体験の傾聴講座
- 1月 ママになった記念祭～おめでとう！お母さんになった私